

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/02/05号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



地政学リスクのプレミアム剥落で急落

NY原油先物相場は、1バレル=79.29ドルまで上昇して昨年11月30日以来の高値を更新した後、72ドル台前半まで急反落する展開になった。週明け直後は中東の地政学リスクを織り込む展開が続き、戻り高値を更新する展開が維持された。しかし、需給ひっ迫化が発生しない環境での急伸地合には過熱感が強く、80ドルの節目を前に調整売りが膨らんだ。更にイスラエルとハマスの停戦協議の動きが伝わると、地政学リスクのプレミアム剥落が加速し、70ドル台前半まで一気にレンジを切り下げている。

イスラエル、米国、エジプト、カタールの当局者が一時停戦を巡る協議を行い、停戦案を策定した。45日間の停戦、人質の解放などを盛り込まれている。カタール経由でハマスに同案が提示され、各国が調整を行っている。早期に停戦合意が実現するのか慎重な見方も強いが、少なくとも停戦協議が始まったことは間違いなく、地政学リスクの織り込みにはブレーキが掛かっている。年初から地政学リスクの一点で底固い展開が続いていたが、その反動安になった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (1月26日時点) は、原油が前週比123万バレル増、ガソリンが116万バレル増、石油精製品が254万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

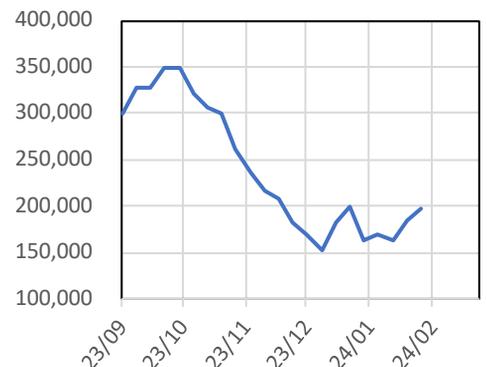
地政学リスクの織り込み一服、70ドル台前半がコアレンジに

地政学リスクの織り込みに一服感が強まる中、上値の重い展開になろう。イスラエルとハマスの間で停戦協議が始まっている以上、地政学リスクのプレミアムを大きく加算していくことが難しい。停戦協議の破綻が伝わると買いが膨らむ余地が再浮上するが、逆に停戦合意が近いとの見方が強まると、一時的に70ドルを割り込むリスクも想定しておく必要がある。ただし、逆に極端な需給緩和状態が想定されている訳ではなく、70ドルを割り込むと下げ過ぎ感が強まる。70ドル台前半をコアレンジとした取引を想定したい。

中東情勢に関しては、引き続きフーシ派の活動には注意が必要。石油タンカーに対する攻撃が行われると、買いが膨らむ可能性がある。また、ヨルダンの米軍基地がイランの支援を受ける武装組織の攻撃を受け米兵3人が死亡した。米軍はイラクとシリアにある武装組織の関連施設に報復攻撃を行っている。米国とイランはともに必要以上に緊張を高めないように対応しているが、武装組織の動向によっては、地政学リスクのプレミアム加算が再開される可能性がある。

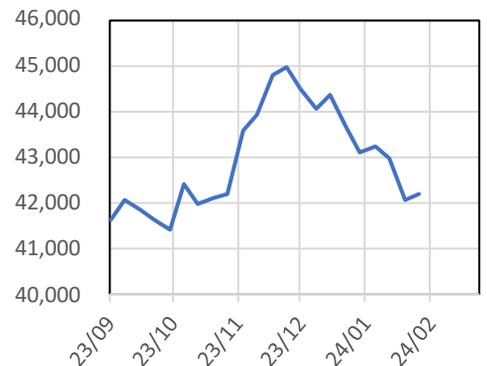
中国経済の減速懸念は、引き続き上値圧迫要因になる。10日から春節（旧正月）の連休入りするが、中国経済が想定以上に速いペースで減速しているとの懸念は根強い。景気対策期待よりも景気減速懸念が重視されると、原油相場も下押しされる可能性がある。一方、2月2日に発表された1月米雇用統計は市場予想を大きく上回った。米経済の減速懸念が後退していること、米国株が過去最高値を更新するなど投資家のリスク選好性が高まっていることはポジティブ。在庫統計と合わせて、各国経済指標にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



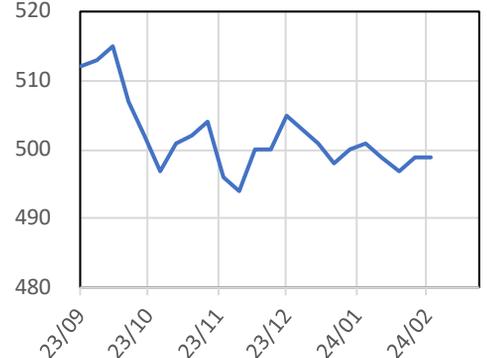
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

